

株式会社田谷野製作所

車両等の排ガスに含まれる有害物質を低減する装置の部品(尿素タンク)の開発、製造

大型機器で新分野に対応

地球温暖化や大気汚染など環境、そして人体に深刻な影響を及ぼす自動車の排出ガス規制は社会的な課題だ。すす(粒子状物質)や窒素酸化物といった有害物質を排出するディーゼル車

について、国は短期・長期の取り組みで規制を強化。自治体も、埼玉県、さいたま市を含む9都県市は条例の排出基準に適合しないディーゼル車の運行を全域で禁止している。



一度に10キロのパリソンを押し出すことができる大型のブロー成形機

ディーゼル車の排出ガスに含まれる窒素酸化物を低減させる技術には、尿素を使った浄化システムが有効とされ、大手メーカーが採用している。プラスチック加工の田谷野製作所は2015年6月から、この低減装置に取り付

ける尿素タンクの製造を始めた。ダンブやトラックに搭載する大型の尿素タンクを製造するため、同社はものづくり補助金を活用し、ブロー成形機を新規導入した。ブロー成形とは、加熱してチューブ状に押し出したプラスチック材料(パリソン)を左右から金型で挟み、内部に圧縮エアを吹き込んで成形する加工法。ポリタンクやペットボトルといった中空の製品を作るのに適している。新規導入したブロー成形機は一度に10キロ程度のパリソンを押し出すことができる大型機。それまで同社が所有していた成形機8台の中でも最大のものと同規模だ。同社は現在、最も大きな2台を併用し、月に約1000個の尿素タンクを製造。主軸となり得る売り上げを確保で

きるまでに成長している。

同社は19年2月、群馬県館林市のプラスチック加工メーカーの経営を引き継ぐ格好で、新たに射出成形の自社工場を整備した。射出成形は加熱したプラスチックを金型に押し込んで形を整える加工法で、精密機器の部品などを製造している。

COMPANY OVERVIEW

■ 株式会社田谷野製作所

実施場所：加須市麦倉 123-5

本社：加須市麦倉 123-5

代表者：代表取締役 羅山能弘

設立：1983年4月 資本金：1000万円 従業員数：28人

電話：0280(62)1157

モ▶ 田谷野製作所は2018年7月、東京都葛飾区のラヤマ・パックスの羅山社長が経営を引き継いだ。容器類のほか浄化槽や運搬用ケース、空調ダクトなどを製造している。